



2022年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジー
代 表 者 名 代表取締役社長 阿部 昭彦
(コード番号 3356 東証スタンダード)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 執行役員 経営管理部長 廣谷 慎吾
電 話 03-3237-3291

持株会社体制への移行の検討開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年10月4日を効力発生日として、持株会社体制へ移行するため、その検討を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、2022年6月に開催予定の当社定時株主総会の承認が得られることを条件に実施する予定です。詳細につきましては、決定次第改めてお知らせいたします。

記

1. 持株会社体制への移行目的

当社グループは、「No.1 in Quality」をスローガンに掲げ、最先端テクノロジーと市場の目利き力に裏打ちされた現場力をもとに、常にお客さまに寄り添い良質なサービスを提供することを通し、豊かで快適で安心なデジタル社会の未来づくりに貢献することを目指しております。

当社グループは事業の多角化およびエリアの拡大を進めており、現在当社グループが展開する事業は、株式会社テリロジーが営むトータルセキュリティソリューション事業、子会社である株式会社テリロジーワークスの営むサイバースレッドインテリジェンス事業、株式会社テリロジーサービスウェアおよびその子会社株式会社 IGL000 が営む多言語&インバウンドソリューション事業および ICT ソリューション事業、クレシード株式会社が営む中小企業向けシステム開発・IT アウトソーシング事業、及びベトナム VNCS 社との合弁子会社である VNCS Global Solution Technology Joint Stock Company が営む ASEAN 向けセキュリティソリューション事業であります。

現在、当社グループは、親会社である当社がトータルセキュリティソリューションサービス事業を営みつつ、子会社の管理を行っております。一方、今後の当社グループの事業展開の加速化およびガバナンスの強化を通じた企業価値向上の実現のため、持株会社体制への移行が最適であると判断し、持ち株会社体制への移行に向けた検討を開始することといたしました。持株会社はグループ経営機能、投資機能および新規事業開発機能に特化し、経営戦略の策定、経営資源の最適化やガバナンスの強化を図ります。一方で、各事業会社は事業に関する権限と責任のもと、独自に成長戦略を描き、他社との業務提携、資本提携を含め、スピード感を持って意思決定を実施、刻々と変わる事業環境に合わせて柔軟に事業を推進し、競争力の強化を図ります。

2. 持株会社体制への移行方法

当社を株式移転完全子会社とする単独株式移転により完全親会社となる持株会社を設立することで、持株会社体制に移行する予定です。これにより当社は上場廃止となりますが、当社の株主の皆様は新たに交付され

る持株会社の株式につきましては、東京証券取引所に新規上場（テクニカル上場）を申請し、引き続き同市場に上場することを予定しているため、実質的に株式の上場を維持する方針です。なお、設立する持株会社の商号及び体制、その他の事項につきましては、今後決定次第、速やかにお知らせいたします。

3. 今後の予定

- 2022年5月（予定） 持株会社体制への移行に関する議案の取締役会での承認
- 2022年6月（予定） 持株会社体制への移行に関する議案の定時株主総会での承認
- 2022年10月（予定） 持株会社体制への移行

以 上